

ローカルメディア、コンテンツと地域再生

開催日時

2018年12月8日(土) 15:00~17:30

会場

法政大学 ボアソナードタワー26階 会議室A

定員

50名

参加費

無料

概要

日本においては従来、メディアやコンテンツは東京が独占してきたともいえる。しかし現在、ようやくローカルメディアはそれぞれの独自性を持って新たな取り組みを始めている。またローカル発のコンテンツが全国規模で展開する事例も増えてきた。それはひとつの観点からみると、新たなローカルコミュニティの再編に他ならない。またデジタルは誰でも情報の発信が可能になるという新たなスキームを具現化させ、東京一極集中の「地域格差」を縮め、配信の「距離格差」も縮めて、メディア、コンテンツのグローバル向け発信を可能にした。つまりはローカルメディアやコンテンツがローカルの未来を変えるポテンシャルを持ち始めたのだ。本シンポジウムではローカルに焦点を当てて、今後の地域格差是正の新たな可能性を議論していく。

申込方法

下記アドレスまたは右記QRコード先のフォーマットよりお申込みください。
→ <https://goo.gl/M6wDax>

お申込み用QRコード



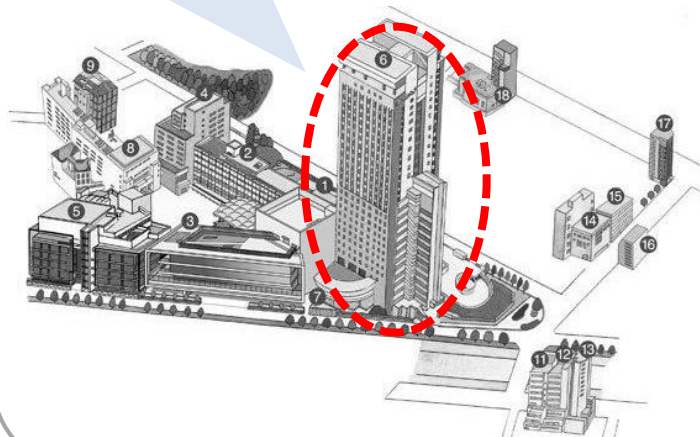
アクセス

<会場>

東京都千代田区富士見2-17-1
法政大学市ヶ谷キャンパス
ボアソナードタワー26階 会議室A

<最寄り駅からのアクセス>

市ヶ谷駅または飯田橋駅下車 徒歩10分



開会の挨拶・趣旨説明

15:00

増淵 敏之
政策創造研究科 教授

発表①

15:10

影山 裕樹

編集者、
合同会社千十一編集室 代表



photo:Ryosuke Kikuchi

1982年東京生まれ。早稲田大学第二文芸学部卒業後、雑誌「STUDIO VOICE」編集部を経てフィルムアート社に入社。美術書、カルチャー書を多数手がけた後に独立。プロデュース・編集した書籍に『地域を変えるソフトパワー』『秘密基地の作り方』など。近年は「フェスティバル/トーキョー」(2012、13)「十和田典入瀬芸術祭」「札幌国際芸術祭2014」など各地の芸術祭やアートプロジェクトに編集者、ディレクターとして携わる。著書に『大人が作る秘密基地』、『ローカルメディアのつくりかた:人と地域をつなぐ編集・デザイン・流通』、編著に『ローカルメディアの仕事術:人と地域をつなぐ8つのメソッド』など。

発表②

15:35

杉山 浩之

(株)販売促進研究所
代表取締役社長



1971年静岡県清水区生まれ。法政大学大学院卒。デザイン企画会社、広告会社を経て2007年独立。清水もつカレー、バリ勝男クン、大沢緑側カフェなど地域の資源を活用した商品開発、ブランド戦略などマーケティング活動全般を行う。政策学修士/静岡大学非常勤講師/しずおか産業創造機構経営支援アドバイザー/静岡市産学交流センター派遣アドバイザー/関東経済局中小企業支援ネットワークアドバイザーなど公職多数。

発表③

16:00

宮本 誠

(株)みやもと
代表取締役社長



1968年栃木県日光市生まれ。武蔵野美術学園にて油絵を学びデザイン企画会社を経て、宇都宮で販売促進印刷物を主業とする株式会社みやもとに入社し2000年代表取締役社長に就任。印刷業務から企画デザイン制作・WEB/SNS・3Dプリンター事業を軸に企業等のブランド戦略やマーケティング講座なども行う。本業の傍ら印刷関連ワークショップにデザイン講座、写真教室などを毎月無料で行う「印刷工場課外授業」(106回)・宇都宮街中マルシェ「やさしい日曜日」(31回)など地域活性化活動を継続開催中。日本グラフィックサービス工業会理事。

ディスカッション&質疑応答

16:30

影山 裕樹

杉山 浩之

宮本 誠

増淵 敏之

閉会の挨拶

17:10

● お問合せ先 ●

法政大学大学院事務部大学院課政策創造研究科担当

Tel : (03) 3264-6630

E-mail : rpd-j@hosei.ac.jp